

地震予知
を目指す
HAM連合
の研究会

JYAN研究会の紹介

- ・2007年 5月 災害情報学会、日本地震学会などに入会
- ・2009年 5月 15名でJYAN研究会発足(CQ誌で募集)
- ・2009年10月 日本地震学会(京都大学)で初めての発表
- ・2011年10月 日本地震学会(静岡)で電磁異常理論発表
- ・2012年 8月 東京ビッグサイトのハムフェアに出展(~連続)
- ・2013年 7月7日 JYAN大分ネット第2回総会で研修会を実施
- ・2013年10月2日 産経新聞夕刊「面トップ」にJYAN研究会紹介
- ・2014年 3月14日 2時7分頃伊予灘で地震発生 全面記録できる
- ・2014年12月25/26日 日本地震予知学会(電通大)で2項発表
- ・2015年 5月25日~26日 JGUの学会大会(幕張)2項の発表

学会等の発表及び講演 日本地震学会4回、JGU3回&講演21回

記事=CQ5回新聞4回 観測網は全国で35局が(140波)を観測中!

会 長 JH6ARA 國 廣 秀 光

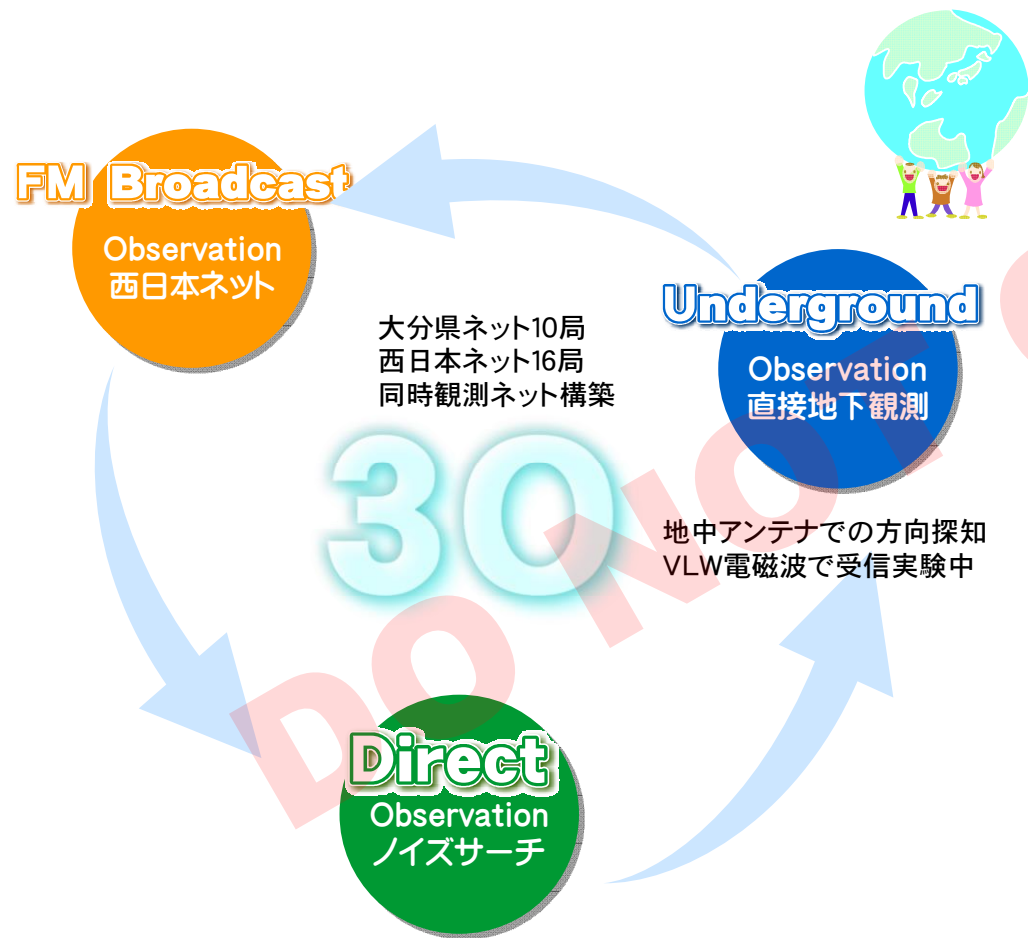
地震予知アマチュアネット(電磁Proの地震前兆ノイズ研究調査会)

会 員 ML等で 300名超

大分県 国 東 市

JYAN研究会の地震予知情報 (目標)

研究会員には,3Observationで確率の高い地震予知情報を提供します。



JYAN研究会は、地震災害を未然に防ごうと、地震の根源となる地殻変動をいち早く覚知し、地震予報の発表を目指して、大分県に観測ネットを構築し現在は九州から西日本地域にまで地震予知観測ネットが拡大しました。観測局会員は無線通信は元より電磁波や電波伝搬に詳しいベテランHAM揃いで、地震被害を無くそうとボランティアで観測活動に貢献しています。

Observation FM broadcast

FM放送電波の監視 (VHFで異常覚知)

まずは、FM電磁波の異常伝搬を覚知し、おおまかな地震の3要素 (震源・規模・時期) 等を観測します。

Observation Direct

地震に起因する雑音電磁波を探索 (HFで方向探知)

震度5以上が予想される場合、FM方向探知に加えて各地の観測局がHF等の指向性アンテナで方向探査を行います。

Observation Underground

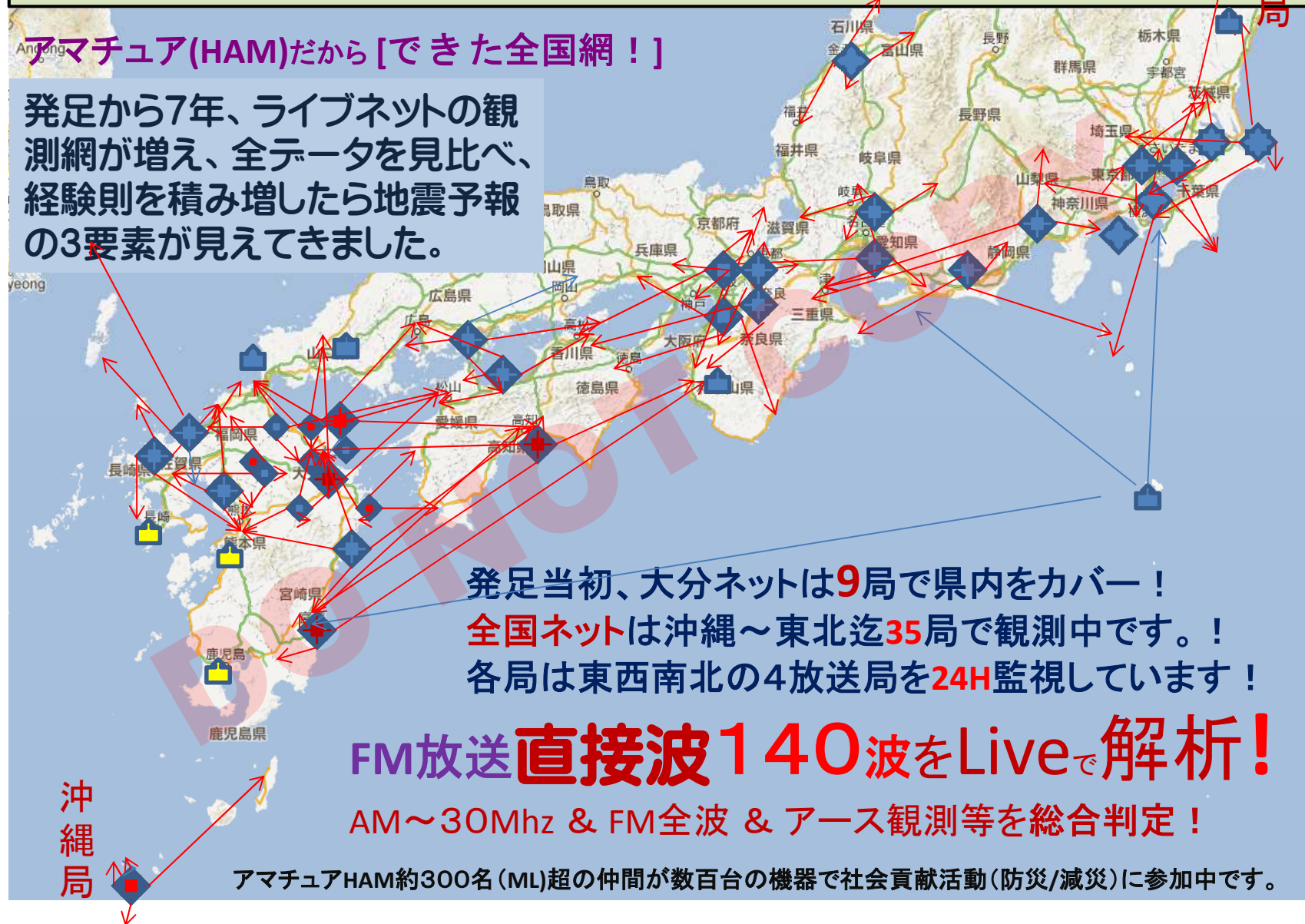
直接地下観測 (LBで電位等観測)

地中ではLB(LowBand)の電磁波伝搬が良いことから直接受信を工夫し、上空と地下の2方面から地震電磁環境の変化を観測して地震予報の確率を高めようとしています。

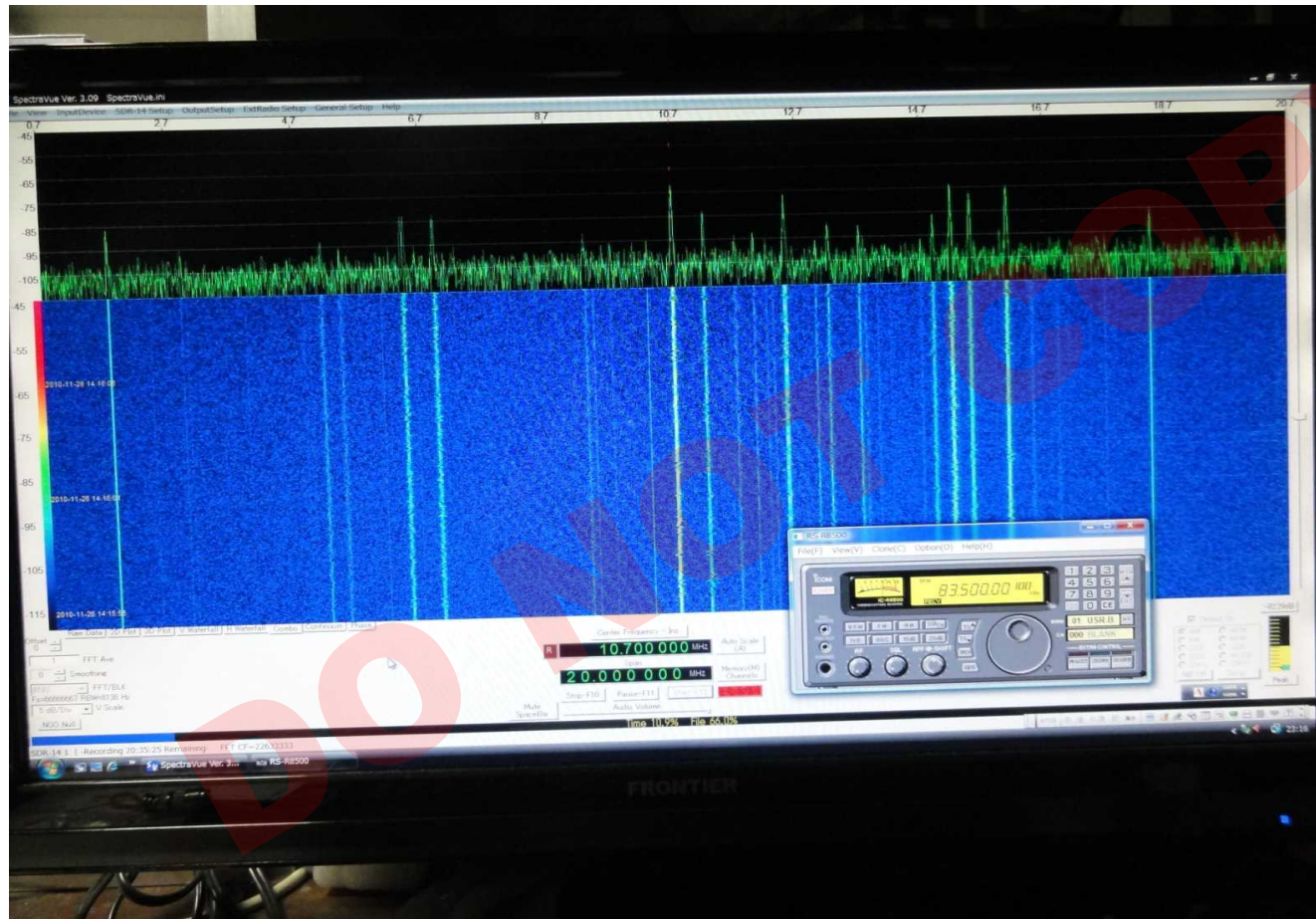
JYAN研究会 電磁波観測網 (2015年4月)

アマチュア(HAM)だから[できた全国網!]

発足から7年、ライブネットの観測網が増え、全データを見比べ、経験則を積み増したら地震予報の3要素が見えてきました。



全FM放送帯の記録を継続中



FM放送帯
全域の観測と
記録が可能な
装置です。

(3G迄)

各放送波の電
界強度をモニ
ターし、変化し
た局(電磁波)
が一目瞭然！

6年間継続中
ですが、PCで
遠隔操作も可
能です。

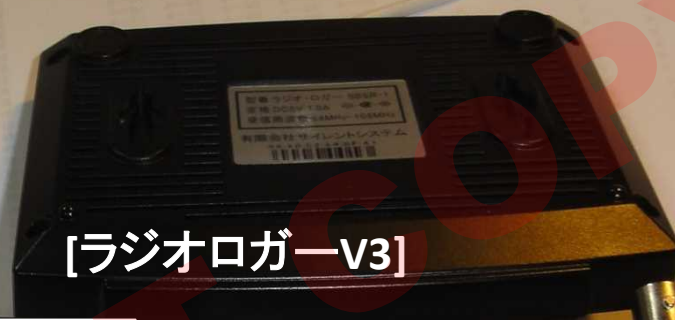
(改造していま
す。)

通常の受信機に工夫を凝らすと電磁パルスの変動が受信できます。

地震電磁観測に開発RL_{v3}



試作2号機



[ラジオログーV3]

裏と内部

ANTと電源、LANケーブルを繋ぐと
全国ネットのサーバーに接続し、4c
Hの観測を開始します。(事前設定
済)



電磁波観測装置と無線機群！

直輸入の高級スペアナやSDR等プロ級



上は、無線の送受信機群
オールバンド全モードで
ハンディ機を含めると約30台
観測系は専用受信機8台
パソコン装置7台が稼働中！
(貸出し装置は23台他多数)

下は(アース抵抗)
スペアナ装置
オシロスコープ
三種の神器等の
必要計器は殆どある。
プロ級の研究室だ。



JYAN研究会HP地震予測観測網HP他

トップページ

HAMIC

研究会の方針

研究の概要

公開・配信の情報

観測局NET

研究会連絡事項

お問い合わせ



地震の防災で、ハム(電波)と測防(FRS)と地震(EQ)学者が
全国ネットで電磁気観測や地震予知の研究を行っています。
『自由な発想』と『最新の技術』を駆使して
『Safe life』に向けて情報発信します。
電磁気異常の情報はHAMICで警報窓口をお願いします。

(本年も地震等の観測に変化がありしたい。地表電磁界やAM帯・短波帯、FM帯等の観測から「地震等の予測情報」を
お知らせしています。地震情報ページ(詳細)や、観測情報、またNEWS & TOPICS等をご覧ください。)

NEWS

ツイート いいね! シェア

2015年5月25日~26日 JGUの学会大会が24日~28日まで幕
幕しました。当研究会から私(会長 國廣)が25/26両日に渡って発表致しました。主旨は
カーの観測を発見した内容です。特にFM観測で、電磁気異常から観測が同期して
動、地殻変動から電磁気異常、電磁気異常から地震予知へと発展する大発見となり
震前兆の観測ツールとして関連性が証明され、予知情報の観測ツールとし、メカニ
スになります。詳細は「研究の概要」ページをご覧ください。 なお、今後は
報に期待が寄せられるようになります。見逃しの無い「地震前兆情報」ページにしたい。

①左はJYAN研究会
(公開中です)

②地震予測観測網
(観測網会員のみ)
左下は

③HAMIC FS(未公開)

地震予測観測網

トップページ(新着情報は最下段をご覧ください)

研究会の方針と活動Report 研究概要 観測NET 研究発表(学会他) CQ誌掲載

入会のご案内 お問い合わせ ブログ 観測と異常変化の状況 地震警戒情報 HAMICとその運用



2015年(平成27年度)からの方針について

先般、観測網各位に伺いましたJYAN研究会や地震予測観測網の活動方針ですが、お概ね了承されました。ただし、次の意見がありましたので、活動計画に生かしたいと思っております。以下にその概略内容をアップします。

地震予知アマチュアネットワーク会員、目付、地震予測観測網協力局の皆様へ(ご意見を募集します) 2015年3月29日 JYAN研究会の目標及び方針のVupについて JYAN研究会 会長 國廣 秀光 香風。皆様には健やかにお過ごしのことと拝察申し上げます。また、平素から地震研究と電磁気観測には特段のご協力を賜りまして誠に有難うございます。さて、新しい年度が始まります。

TEL.0978-72-2643 FAX0978-72-3641 〒873-0503 大分県国東市国東町鶴川1737番地

最近の投稿

- 地震予知学会のお披露目式Report
- サイバー攻撃 撃退
- 電磁波の観測と解析要領について
- 九州一の久住連山

HAMIC=FORESIGHTは地震予知を専門とする安全推進研究所です。

BS HAMIC (FORESIGHT)

TEL. 0978-72-2643
〒873-0503 大分県国東市国東町鶴川1737番地

トップページ 研究所の方針 サービス/開発情報 新着情報・FAQ 研究開発概要 取引・採用情報 お問い合わせ

HAMIC FS

突然襲ってくる巨大地震! (阪神淡路や東日本大震災等々)
その悲惨さから震災を防ごうと研究を始めて20年! ハムの
経験から、斬新的な電磁気理論と地震予測システム予想を
構築し、全国的な観測網などで、震源の検知が、電磁波の
観測から見えてきました。地震予報や、研究から生まれた
安全備品で「震災を予防する暮らし」を提案できます。

HAMIC=FORESIGHTは「地震の予防」を専門とする安全推進研究所です。あらゆる災害を予防し、安全で快適なライフスタイルに変える防災備品をお届けします。

サービス service
採用情報 recruit
アクセス access

HAMIC(FORESIGHT)

TOPICS & CONCEPT

HAMの「社会貢献」 月刊CQ誌に5回掲載！

ハムなら、地震予測ができる！2009年4月&5月号で、地震研究と観測技術や理論等を展開しました！



「どうして地震の前にノイズがでるの？」
に実例を示して優しく解説しています。4P

電磁気観測による「地震予知」の根本原理が次第に明確になってきました。今月号は、地震を予測し、命の安全確保と予測観測の活用を薦めています。(5Pでの解説)



なぜ？電磁波が揺らぐの？ に筆者が観測データを示し、根本的な理論を展開して詳しく解説しています。

また、特集では「JYAN研究会」の各局の活動が「9P」の圧巻で紹介されました！読み応えがあります。

JYAN研究会

- 産経新聞 (10.2日)
 - 夕刊「1面トップ」に
 - 掲載されました。
 - 2013年10月2日
- 「Web版」msn
産経も見られます。

産経新聞
10.2 [水]
平成25年(2013) 日刊25431号
THE SANKEI SHIMBUN
発行所: 産経新聞社(東京都港区新橋2-1-1)
〒105-8505 大塚ビル5階(東京) 1F(大阪)
電話: 03-6633-9357
FAX: 03-6633-9358
http://www.sankei.co.jp/reader

産経新聞
10.2 [水]
平成25年(2013) 日刊25431号
THE SANKEI SHIMBUN
発行所: 産経新聞社(東京都港区新橋2-1-1)
〒105-8505 大塚ビル5階(東京) 1F(大阪)
電話: 03-6633-9357
FAX: 03-6633-9358
http://www.sankei.co.jp/reader

産経新聞
10.2 [水]
平成25年(2013) 日刊25431号
THE SANKEI SHIMBUN
発行所: 産経新聞社(東京都港区新橋2-1-1)
〒105-8505 大塚ビル5階(東京) 1F(大阪)
電話: 03-6633-9357
FAX: 03-6633-9358
http://www.sankei.co.jp/reader

産経新聞
10.2 [水]
平成25年(2013) 日刊25431号
THE SANKEI SHIMBUN
発行所: 産経新聞社(東京都港区新橋2-1-1)
〒105-8505 大塚ビル5階(東京) 1F(大阪)
電話: 03-6633-9357
FAX: 03-6633-9358
http://www.sankei.co.jp/reader

伊勢神宮(三重県伊勢市)で、社殿を20年に1度の例祭で、神職に引越してもらう。社殿のクレーンで、神職の機を吊り上げ、社殿の正面に移動させる。神職は、社殿の正面に移動した機を、社殿の正面に移動させる。神職は、社殿の正面に移動した機を、社殿の正面に移動させる。

「遷御いよいよ今夜 新正殿飾り付け」
伊勢神宮(三重県伊勢市)で、社殿を20年に1度の例祭で、神職に引越してもらう。社殿のクレーンで、神職の機を吊り上げ、社殿の正面に移動させる。神職は、社殿の正面に移動した機を、社殿の正面に移動させる。

今年4月13日の淡路島地震の直前に観測されたFM電波異常
淡路島地震
民間団体学会で発表へ
1カ月前から電波異常

淡路島地震
民間団体学会で発表へ
1カ月前から電波異常
今年4月13日に発生した淡路島地震(マグニチュード6.6)は、大規模な地震であり、淡路島の地盤が崩壊し、多くの建物が倒壊した。この地震は、淡路島の地盤が崩壊し、多くの建物が倒壊した。この地震は、淡路島の地盤が崩壊し、多くの建物が倒壊した。

新車販売の40%超に
新車販売の40%超に
新車販売の40%超に
新車販売の40%超に

「軽」好調の裏に過酷値下げ圧
下請け悲鳴「8%」追い打ち
中小いじめ許さぬ
消費税率転嫁「Gメン」
経産省
消費税率転嫁「Gメン」
経産省
消費税率転嫁「Gメン」
経産省

JYAN研究会が全国紙に！ 見開き半分

9 (特集) 4版 平成25年(2013年)10月23日 水曜日

産経新聞

夕刊

第三地帯(佐賀県)

地震予知の意義

FM波観測 誰でも可能

東日本大震災以降、地震予知への関心が描かれている。大きな被害も想定される南海トラフ巨大地震で、国は「地震観測による予測は難しい」としている状態だ。一方で、今年横浜で開催された日本地震学会で、4月13日に発生した淡路島地震(マグニチュード6.3)を予測したとの発表が行われた。この事例を通して、地震予知の意義について考える。

(編集委員 北村理)

淡路島地震は23日前から異常が確認され、4月7日に平常に戻ったため、地震の予測として期日は、4月13日頃、マグニチュードは6.3、場所は姫路から貝塚市方面(淡路島方向)と予想することができた。とする記述が、地震の当日、アマチュア無線技士らによる地震観測ネットワーク「JYAN研究会」(大分県国東市)の会員用ホームページ上に掲載された。

同会は地上のFM波や短波などを観測し、地震予測の可能性を探っている。FM波については沖崎から横浜まで21局のネットワークを展開し、84支局のFM電波を観測している。

研究会代表で元国東市消防長の国光秀光さんによると、大阪府貝塚市の観測所が、地震発生の約1カ月前の3月15日から発生6日前の4月7日まで、姫路のFM電波がおおむね5〜10デシベルなり、その状態が続いた。地震までの6日間は、通常のレベルに戻った。

また、FM波の異常が地震予測につながるのか。研究会

恐れすぎず身近な理解を

これまでの観測事例の分析から導き出した「法則」はこうだ。地震活動が地中で活発化し、破壊が進むと電磁気的エネルギーが発生。それが電磁気として空中に出て、地上の電磁界に影響を与える。その結果、FM波や短波などが影響を受け、普段は届かない遠距離まで届き、近距離では届きにくくなる。ただし、こうした変化は地震発生直前にみられる「静穏期」になると、正常にもどったりする現象が観測される。

同会の過去の記録から傾向を探ると、10デシベル上昇し収まるまで、その間に地震が発生する場合、マグニチュード(M)6クラスで震度5〜6の地震が発生。20デシベル上昇した場合、最大で震度7、静穏期が3日間程度だと、M9の東日本大震災の場合「電波を反射する」電離層が日本全体で地震の影響を受けていたと予想され、それが

これによって、観測局全局のFM波や短波に異常があったため、何が起きていたか分からず、数カ月たって、大震災が発生した。3月11日前後の過去のデータを振り返ってみれば、極めてゆるやかに大きな変化に気付いた、という。

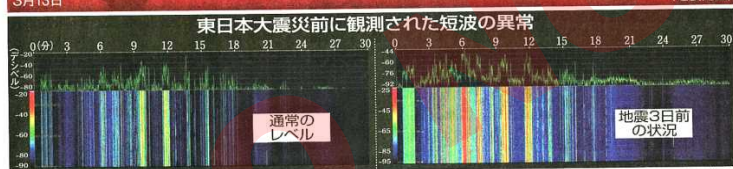
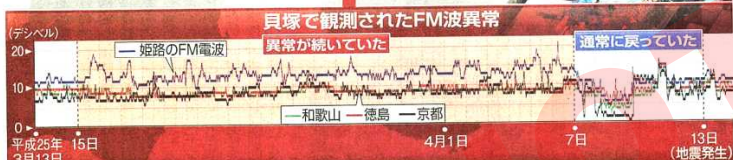
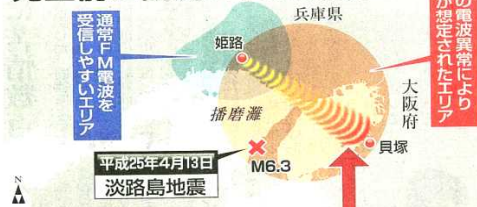
□



京都

「淡路島地震」の予知とFM波観測

4月13日の淡路島地震の発生前に観測された現象



グラフィック: 松原知美

防災目寄り情報

帰宅困難時やガレキ道で活躍

平成23年3月11日の東日本大震災の際、東京都内では電車など交通網がまひし、多くの帰宅困難者が発生した。この際、活躍したのが自転車。都内の自転車店には客が殺



家族揃って全国新聞に載りました。 1993年3月27日(日本経済新聞)

(7) 【第三種郵便物認可】

をつけたからだ。「おかげで電波障害はほとんど起きない」と秀光さんは胸を張る。

から「勉強が苦でそかになる」と止められていた。「やりたいことを我慢してきたからこそ、今まで続けられたのかもしれない。父親や兄に感謝しなければ」と笑う。

京都の大学を卒業後、コンピューター会社に就職するつもりだった。

母親、
「交信を
つきりて、
へにぎへん
うらんだこ



無線機の周りに集まる国広さん一家
(右から秀光さん、良子さん、忠佑君、隆君、征児君、華恵さん) 大分県国東町の自宅で